様式第１号

研　修　計　画（　変　更　）

平成　　年　　月　　日

　公益財団法人福島県農業振興公社理事長　　様

　住　所：

　　　　　　　　　　　　　[申請者]　　氏　名：　　　　　　　　　　　　　　　　　印

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　電話番号：

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（生年月日：　　　年　　　月　　　日：　　　歳）

　　　　ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ:

福島県青年農業者等育成センタ－農業次世代人材投資資金（準備型）交付業務規程第６条第１項の規定に基づき研修計画の承認（変更）を申請します。

　なお、全国農業会議所が給付対象者のフォロ－アップのために集約した交付情報を含め、本事業に係る交付対象者の情報は関係機関において共有されることに同意します。

※下線部は、変更の場合で、「第６条第４項」とする。

１　農業を始めようと思った理由 （変更しようと思った理由）

|  |
| --- |
|  |

　　※以下に変更する内容を記載

２　就農時に係る計画

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 就農希望地 |  | 就農予定時期 | 年　　　月 |
| 就農形態 | □新たに農業経営を開始□親（三親等以内の親族を含む。以下同じ。）の農業経営とは別に新たな部門を開始□親の農業経営を継承（□全体、□一部）□雇用就農□親元就農　　□親の経営の全体を継承、□法人の（共同）経営経営継承（法人の場合は経営者となる）予定時期　　　年　　月 |
| 経営面積＊２ |  a・頭・羽 （合計） | 所得目標＊２ | 万円/年 |
| 経営内容＊２ | 作目： 　　　　 a作目： 　　　 a（その他：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

|  |
| --- |
|  |

３　将来の就農ビジョン（生産物の販売方法などを記載）＊１

４　計画を達成するための研修＊３

1. 研修内容等

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 名　称 |  | 所 在 地 |  |
| 専　攻　・営 農 部 門 |  | 研修期間 | 年　 月　 日　～　 年 　月 　日 |
|  |

1. 交付期間（準備型）

|  |
| --- |
| 年　　月　　日　～　　　　年　　月　　日 |

　５　その他

|  |  |
| --- | --- |
| 常勤の雇用契約の締結 | □　締結している□　締結していない |
| 生活費の確保を目的とした国の他の事業による給付（例：生活保護制度、雇用保険制度（失業手当）等） | □　給付されている□　給付されていない |
| 青年新規就農者ネットワーク（一農ネット）への加入 | □　加入している□　加入していない |
| 世帯全体の所得 | 　　　　　　　　万円 |

添付書類

別添１：研修実施計画（先進農家等で研修を受ける場合は添付し、教育機関等で研修を受ける場合は、受講する研修のカリキュラム及び入学が認められていることを証する書類を添付。）

別添２：誓約書（保証人の印鑑登録証明書を添付）

別添３：履歴書

別添４：離職票の原本（離職票が発行されていない場合はそれに準ずるもの）

別添５：農業研修に関する確認書（教育機関等で研修を受ける場合は不要。）

別添６：確約書（研修終了後、親元就農する予定の場合）

別添７：個人情報の取扱いの同意書

別添８：確約書（親族から貸借した農地が主で独立・自営就農する予定の場合、研修計画申請時から就農前までの間に提出）

別添９：前年の世帯全員の所得を証明する書類（源泉徴収票、所得証明書等）

別添10：所得目標等の補足資料

＊１　業務規程第３条の第３項の（４）の海外研修を計画している場合は、（４）のア、イについて記載する。

＊２　就農５年後の目標を記入する（雇用就農又は親元就農の場合は記入不要）。

＊３　研修先が複数の場合は記入欄を追加して記入する。

＊４　「世帯」とは、本人のほか、同居又は生計を一にする別居の配偶者、子及び父母が　　　該当

別添１

研 修 実 施 計 画

１．研修内容

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 年　　月 | 研修時間 | 内　　　　容 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
| 研修時間合計 |  |  |

２．習得する技術

・

　・

　・

　・

|  |
| --- |
| 　上記の研修内容で研修を実施します。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　平成 　　年 　　月 　　日　（研修先名称）　　　　　　　　　　　　　　　　　　印（住所）（電話番号） |

別添２

平成　　年　　月　　日

　　　　　　　　　　　　　　　　住　所：

　　　　　　　　[申請者]

　　　　　　　　　　　　　　　　氏　名： 　　　　　　　　　　　　印

　　　　　　　　　　　　　　（生年月日：　　　　年　　　月　　　日：　　　歳）

誓　　約　　書

 私は、福島県青年農業者等育成センタ－農業次世代人材投資資金（準備型）交付業務規程の規定を遵守し、独立・自営就農、雇用就農又は親元就農するため、研修に励むことを誓約します。

なお、福島県青年農業者等育成センタ－農業次世代人材投資資金（準備型）交付業務規程の規定により、当該資金を停止し、一部又は全部を返還することについて異議はありません。その際には、既に交付を受けた資金の一部又は全部を返還することを保証人の署名、捺印を添えて誓約します。

保証人　　住所

氏名　　　　　 印

保証人　　住所

氏名　 　　　 印

（保証人氏名は自署すること。）

＊添付　　保証人の印鑑登録証明書



　別添５

農業研修に関する確認書（例）

　農地所有適格法人Ａ（以下、甲という）と研修生Ｂ（以下、乙という。）とは、農業研修について、次のとおり確認する。

第１条（研修期間）

　研修期間は、平成○年○月○日から平成○年○月○日までとする。

第２条（研修生の責務）

　乙は、研修期間中、甲の指示に従い、誠実な研修を遂行するとともに、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

（１）乙は、研修期間中に知り得た甲の業務上の機密、または甲と取引する顧客情報等（個人情報含む。）について、他に漏洩してはならない。

（２）乙は、甲の信用を害し品位を傷つける行為、研修の目的を逸脱する行為、その他不道徳な行為及び不法な行為をしてはならない。

（３）乙は、研修期間中の不慮の事故に備え、あらかじめ傷害保険に加入しなければならない。

（４）乙は、研修計画に即して必要な技能を習得しなければならない。

（５）上の（１）から（４）に違背した場合、甲の判断により研修を即時中止することができるものとする。

第３条（研修受入先の責務）

（１）甲は、乙が独立・自営就農、雇用就農又は親元就農し、就農後５年以内に農業経営を継承する又は法人の経営者となることができるよう適切に生産技術等を教えなければならない。

（２）甲は、乙を労働者として扱ってはいけない。

第４条（損害賠償）

（１）乙は、研修中に、その責めに帰する事由により、甲又は第三者に損害を与えた場合には、その損害を賠償しなければならない。

（２）乙は、研修における不慮の事故について、第２条（３）の規定に基づく傷害保険による給付があったときには、甲に対し、当該不慮の事故についての損害賠償その他一切の請求を行わないものとする。

第５条（費用の負担）

（１）研修に要する経費（○○○）は、甲が負担する。

（２）研修に要する経費（△△△）は、乙が負担する。

第６条(その他)

　この確認書に定める事項について疑義が生じた場合、またはこの確認書に定めのない事項については、確認書の趣旨に則り、甲・乙協議の上、定めるものとする。

　本確認書締結の証として、本書２通作成し、甲・乙記名捺印の上、それぞれ各１通を保有する。

 　　平成○年○月○日　　　　　　　甲

 (住　所）

 (研修先）

 (氏　名）

 乙

 (住　所）

 (氏　名）

別添６

確 約 書

平成　　　年　　　月　　　日

公益財団法人福島県農業振興公社理事長　　様

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　住所：

［申請者］

氏名：　　　　　　　　　　　　印

（生年月日：　　　　年　　月　　日：　　歳）

私は、研修終了後に親元就農する予定であるため、福島県青年農業者等育成センター農業次世代人材投資資金（準備型）交付業務規程の規定に基づき、下記の事項を実施することを確約します。

なお、同規程の規定が遵守できなかった場合は、当該資金を全額返還いたします。

記

１　就農に当たって家族経営協定等を締結し、私の責任や役割を明確に規定すること。

２　就農後５年以内に、当該農業経営を継承する又は当該農業経営を法人化している場合は当該法人の経営者となる（親族との共同経営者になる場合を含む。）こと。

（親元就農先）

|  |  |
| --- | --- |
| 経営主の氏名（法人化している場合は法人名も） |  |
| 経営主の住所（法人化している場合は所在地も） |  |

（当該農業経営を継承する又は当該法人の経営者となる予定の時期）

|  |
| --- |
| 　　　　　　年　　　月 |

別添７

　公益財団法人福島県農業振興公社理事長　　様

**個人情報の取扱い**

**以下の個人情報の取扱いについてよくお読みになり、その内容に同意する場合は「個人情報の取扱いの確認」欄に署名をしてください。**

**農業次世代人材投資事業に係る個人情報の取扱いについて**

交付主体である公益財団法人福島県農業振興公社は（以下「公社」という。）、農業次世代人材投資事業の実施に際して得た個人情報について、「個人情報の保護に関する法律（平成15年度法律第57号）」に基づき適切に管理し、本事業の実施のために利用します。

また、公社は、本事業による交付対象者の研修状況や就農状況の確認等のフォローアップ活動、交付申請内容の確認、国等への報告等で利用するほか、本事業等の実施のために、提出される申請書類の記載事項を、データーベースに登録し、必要最小限度内において関係機関（注）へ提供し、又は確認する場合があります。

|  |  |
| --- | --- |
| 関係機関（注） | 国、事業実施主体、都道府県、青年農業者等育成センター、市町村農業共済組合 |

|  |
| --- |
| 個人情報の取扱いの確認 |
| 「個人情報の取扱い」に記載された内容について同意します　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　平成　　年　　月　　日（法人・組織名）氏名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　印 |

別添８

確 約 書

平成　　　年　　　月　　　日

公益財団法人福島県農業振興公社理事長　　様

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　住所：

［申請者］

氏名：　　　　　　　　　　　　印

（生年月日：　　　　年　　月　　日：　　歳）

私は、下記親族から貸借した農地について、福島県青年農業者等育成センター農業次世代人材投資資金（準備型）交付業務規程に基づき、　年　月　日までに当該農地の所有権を自らに移転することを確約します。

なお、期日までに当該農地の所有権が移転できなかった場合、同規程の規定により、当該資金を全額返還いたします。

（農地の譲渡者）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 氏名 |  | 本人との続柄 |  |
| 住所 |  |

（農地の情報）

|  |  |
| --- | --- |
| 所在地 |  |
| 面積 |  |

（添付書類）

・当該農地の位置が分かる地図

・農地基本台帳の写し